



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

2023 年度 部会各賞の紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、コロイドおよび界面化学分野で顕著な業績をあげられた研究者・技術者を表彰するために Lectureship Award (LA), 科学奨励賞および技術奨励賞の各賞を設けております。以下に 2023 年度の受賞者について紹介させていただきます。

Lectureship Award

LA 賞は、「当該分野で著しい活躍をされている、あるいは将来この分野での活躍が期待される海外の研究者」に対して授与される国際賞です。本年度は、以下の 2 名の先生に授与されました。

・ Erica Wanless 氏 (University of Newcastle, Australia)

Wanless 教授は、固液界面への界面活性剤の吸着に関して先駆的な業績をあげられています。吸着した界面活性剤層に線状のナノ構造が存在する



Erica Wanless 氏

ことを初めて証明し、それまで受け入れられていた単純な単層-二層吸着モデルが誤っていることを示されています。一方、固液界面に吸着した高分子ブロック共重合体を対象に、液相の物理・化学的特性と高分子構造の相関関係を解明されています。同教授は現在 Australian Colloid and Interface Society の会長を務めるなど、学会活動を通じた界面化学の発

展にも力を注がれています。

・ Tommy Nylander 氏 (Lund University, Sweden)

Nylander 教授は、界面活性分子の界面挙動と溶液挙動を関連付けることを主眼とした卓越した研究を展開されてきています。タンパク質な



Tommy Nylander 氏

どの生物由来分子と、それらが形成する自己組織化構造に焦点を当て、エリプソメトリー、中性子反射率測定といった先端界面計測を駆使して新規知見を見いだされています。また、現在 European Colloid and Interface Society の会長としても活躍されています。

科学奨励賞

若手研究者に対して授与される「科学奨励賞」は、以下の 2 名の先生に授与されました。

・ 伴野太祐 氏 (慶應義塾大学)

伴野先生は、非平衡条件下で現れる時空間ダイナミクス、特に自発的に運動したり構造転移したりするアクティブマターに関して、生命に見



伴野太祐 氏

られるダイナミクスを誘導・制御する研究を先導されてられました。非平衡・非線形系での時空間ダイナミクスを分子

レベルから誘導する新機軸を打ち出している点が評価されました。

・ 猿山雅亮 氏 (京都大学)

猿山先生は、これまで液相でのボトムアップアプローチによる新しいナノ構造体の創製に取り組みました。特に「構造の均一性」を



猿山雅亮 氏

有する高品質な無機ナノ粒子群の合成手法を確立し、構造に起因する物性や現象を詳細に検証することを可能としている点が高く評価されました。

また、企業の若手研究者に対して授与される「技術奨励賞」については、今年度は受賞者なしとなりました。

おわりに

受賞者の先生方には、9 月に開催されるコロイドおよび界面化学討論会において受賞講演をしていただく予定になっておりますので、ぜひご聴講下さい。また、2024 年度の各賞の募集も実施いたします。科学・技術奨励賞は、若手研究者によるコロイドおよび界面化学の研究分野のますますの活性化を期するものでありますので、積極的な応募をお願い申し上げます (詳細は部会ホームページをご確認下さい)。

〔部会長・前賞選考委員長 酒井秀樹 (東京理科大学創域理工学部)〕

© 2023 The Chemical Society of Japan